

申請事業名

越後雪かき道場による除雪ボランティアの育成と豪雪地における除雪安全の啓発活動

実施報告書

平成 28 年 3 月



特定非営利活動法人
中越防災フロンティア

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫亀 3373 番地 1

TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305

1. 概要

1-(1) 雪かき道場の発足の背景とこれまでの実績

雪かき道場は、平成 19 年 1 月より始めた、雪かきの知識と技術を伝承する研修会である。平成 18 年豪雪では新潟県中越地方をはじめ、全国で 152 名の方々が犠牲になった。そのうち全体の 4 分の 3 が除雪作業中の事故によるもので、さらにそのうちの約半数が屋根の雪下ろし作業中の事故で犠牲になっている。また、雪に慣れた豪雪地帯でも、毎年のように除雪作業中の事故が発生し、その数は減ることはない。今冬も屋根雪処理中の転落事故が相次ぎ、特に高齢の犠牲者の数が増加傾向にある。

一方、除雪作業は基本的には自助あるいは地域内における共助で対応すべきであるが、平成 18 年豪雪のような場合、特に過疎・高齢化が進む中山間地では、地域外からのボランティアなどの戦力も必要になる。しかし「喉から手が出るほど欲しい」全国各地からのボランティアの支援であるはずなのに、スコップすら持ったことがない雪に不慣れたボランティアに屋根雪除雪などの危険な作業を依頼できないジレンマがあった。また、受け入れる自治体や集落側としても、これまで外部の支援を受け入れたことがなく「謝礼はいくら支払えばよいのか」「宿泊場所はどのように確保すればよいのか」等の問題を抱えたまま、結局ボランティアの申し出を断る場面も多く見受けられた。

そこでこれらの課題に対処するため、NPO 中越防災フロンティアを事務局として、雪に不慣れたボランティアに対して地元のベテランから雪かきの知識と技術を学ぶ研修会と、いざという時のための地元の受け入れ訓練を兼ねた実践的な取組として立ち上げたのが、「雪かき道場」である。これまでに新潟県をはじめ、富山県、岐阜県、長野県、山形県にまたがる 20 ヶ所以上で開催し、一部の開催地では「暖簾分け」を済ませたり、北海道の「雪はね探検隊」とは連携を深めたりしてきた。(表 1-1)

〈表 1-1 雪かき道場の開催実績〉

	2007 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
開催数	初級 4 回 上級 1 回	初級 7 回 中級 1 回 上級 1 回 キッズ 1 回	初級 4 回 中級 1 回 上級 1 回	初級 4 回 中級 1 回	初級 5 回 中級 2 回	初級 5 回 中級 2 回	初級 5 回 中級 1 回 上級 1 回	初級 5 回 中級 2 回 上級 2 回	初級 5 回 中級 3 回 上級 1 回
エリア	新潟県 ・長岡市 ・小千谷市 ・湯沢町 長野県 ・飯山市	新潟県 ・長岡市 ・小千谷市 ・十日町市 ・南魚沼市 長野県 ・飯山市 ・信濃町	新潟県 ・十日町市 長野県 ・木島平村 山形県 ・村山市 富山県 ・高岡市	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 山形県 ・村山市 岐阜県 ・高山市高根	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 ・長岡市小国 山形県 ・尾花沢市 富山県 ・上市町	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 ・長岡市小国 富山県 ・黒部市 ・南砺市	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 ・長岡市小国 富山県 ・立山町 ・南砺市	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 ・長岡市山古志 富山県 ・南砺市	新潟県 ・十日町市 ・長岡市川口 ・長岡市山古志 富山県 ・南砺市 兵庫県 ・香美町
修了者	108 名	185 名	100 名	103 名	108 名	135 名	117 名	140 名	138 名

当初は「除雪未経験ボランティアのための雪かき研修」に重きをおいていたが、何冬季かの開催経験を経て、むしろ「地域のボランティア受け入れ訓練」の意義が大きいことに気づいた。その後、参加者のアンケート結果から、冬の体験交流プログラム、地域防災力向上のきっかけ、広

域の草の根防災交流の促進、地域の除雪安全意識の高揚と安全対策の普及促進など、と様々な効果を実感することとなった。

一方で地域の声も受け止めながら、毎年少しずつ開催テーマを更新してミッションの調整・再定義を図ってきた。近年では除雪安全、特に雪下ろし安全にも力を入れ、雪下ろしに特化した安全帯の企画販売、講習会の開催、命綱を固定するアンカーの普及啓発および、これらに関わる研究も進めている。

1-(2) 雪かき道場の特徴

雪かき道場は、雪に不慣れな非豪雪地帯の若者等に対して、除雪技術の基本を指導する研修会である。指導に当たっては開催地のベテラン指導者を「師範」と呼び、雪かき道場スタッフが「師範代」として、雪かき道場の参加者と地元の橋渡しをコーディネートしながら双方向性のある「学び」と「交流」の場を創出している。

参加者の技能や経験に応じて3つのコースを設け、初級は地上の雪かき作業、中級は屋根の雪下ろし作業、上級は除雪作業全般の段取りまで行う。(表 1-2)

〈表 1-2 雪かき道場の段位制と認定証〉

初級コース 	雪かきの基礎を「雪かき道場<越後流>指南書」を使用し、講義(座学)形式で学ぶ。その後、カンジキの履き方、スコップやスノーダンプなどの実技演習を行ったのち、集落内に入り、実際に除雪作業を行う。雪かき体操やユキカキカルタなどによるレクリエーションも取り込み、雪に親しんでもらうことを目的としている。
中級コース 	初級コースを修了した方や、雪国での除雪経験がある方を対象に、主に屋根雪除雪に関する技術を学ぶ。命綱(安全帯)やロープに関する講習と実地講習を行い、より安全、かつ効率的に除雪作業ができる技術を習得する。
上級コース 	除雪のリーダーをめざし、チームを率いながら段取りよく作業を計画するスキルを習得する。また、命綱の取扱いや、万が一の際の雪中埋没者の捜索や、負傷者の搬送訓練等も行う。

また、雪かき道場は、雪国の最大の地域資源ともいえる「雪」に着目するのみでなく、住民にとっては余計な重労働でしかなかった「雪かき」に新たな価値を見出し、マイナスをプラスに転換する発想によって、雪国の安全と活力を創出しようという、他に類のない画期的な取組である。

2. 活動報告

2-(1) H27 年度の活動報告

H27 年度の越後雪かき道場の活動実績は、下記に示す通りで、新潟県内外の 5 か所において開催し、延べ 107 名の修了者を輩出した。

〈越後雪かき道場®シーズン 2016 の参加人数〉

日付	場所	参加者(修了認定者)
1/30～31	新潟県長岡市川口木沢	27 名(初級 20、上級 7)
2/6～7	新潟県長岡市山古志	31 名(初級 18、中級 13)
2/6～7	富山県南砺市太美山	7 名(中級 7)
2/13～14	富山県富山市八尾町大長谷	15 名(初級 12、上級 3)
2/20～21	長野県長野市鬼無里	27 名(初級 27)
合計		107 名

活動が 10 年目を迎える今シーズンは、上記の開催場所においてこれまでのように広域的な除雪ボランティアの受け入れと育成を行うだけでなく、越後雪かき道場®が 10 年にわたって取り組んできた「Snow Safety(除雪安全)」と「Snow Rescue(除雪ボランティア)」の活動の集大成として、ソフト、ハードの両面から活動を行い「Snow Innovation(雪国の革新)」を伝播していくため、下記の 3 つ活動に重点を置いて活動を行った。

(1) ソフト的な活動

除雪ボランティアに対する安全教育や、作業現場での段取り等を含む一連のコーディネートを行える「除雪リーダー」を養成するため、越後雪かき道場®の「上級コース」のカリキュラムの中で、除雪作業計画・準備から当日の運営と実践、作業後の振り返りまで行った。



座学の様子



基本実技の指導



上級コースの埋没者搬送訓練



上級コースの屋根雪除雪

また、上記の除雪リーダーが所属する団体には、本家越後雪かき道場®より「のれん分け」を行い、〇〇雪かき道場として、除雪技術の指導及び受け入れ地域の防災力の向上と除雪安全の啓発活動に励行してもらった。

H27 年度においては、群馬県片品村の片品村社会福祉協議会をのれん分けの対象団体として、「上州雪かき道場」の開催準備から当日の運営までを指導、支援し、のれん分けの判定を行い、「上州雪かき道場」開催運営団体として認定を行った。



安全講習の様子



作業後の集合写真



のれん分け式



公認証書

さらに、新潟県のボランティア登録制度「スコープ」と連携し、越後雪かき道場®から講師派遣を行い屋根雪除雪に関わる安全指導を行うとともに、「スコープ」参加者に対しても越後雪かき道場®中級コースの認定を行い、即戦力となる人材を育成した。

(2) ハード的な活動

雪かき道場を開催する地元住民や建築組合、行政らと構成する「雪下ろし安全研究会」を開催し、雪下ろし安全に関する情報交換の場を設けるとともに、アンカーの開発、検討とその普及に向けた活動を行った。



第一回雪下ろし安全研究会(9/28)



第二回雪下ろし安全研究会(10/20)

(3) 雪国イノベーションの広域的な展開

越後雪かき道場®の活動を振り返るシンポジウムを11月20日(金)に開催し、近隣の豪雪地で活動している団体からの事例発表や意見交換を行い、課題や今後の展開について言及した。

シンポジウムでは、越後雪かき道場®の主宰者による基調講演のほか、雪国で活動する他団体の活動事例の紹介や雪下ろし安全研究会(地元の建築組合等)から最新のアンカー設置の事例等を紹介してもらった。また、翌21日(土)には、アンカーの現地見学会を開催した。



受付状況



会場内



会場内の様子



会場内の様子



NPO 中越防災フロンティア理事長の挨拶



上村教授の基調講演



長野県社会福祉協議会より報告



フレンドシップ木沢より報告



アンカー見学ツアー(腕金式)



アンカー見学ツアー(ワイヤー式)



アンカー見学(屋根馬型)



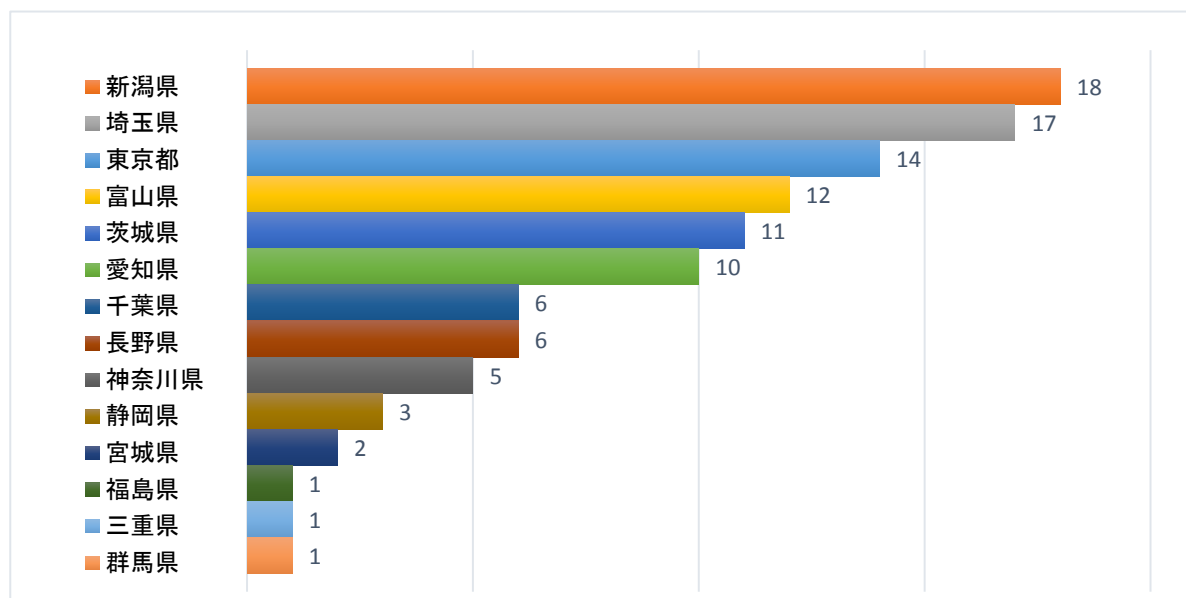
アンカーに安全帯を装着



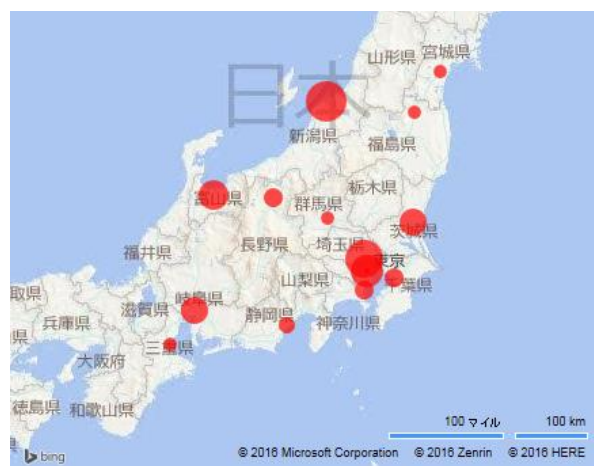
集合写真

2-(2) アンケート集計

NPO 中越防災フロンティアが直営で開催した雪かき道場 2016 シーズンの総参加者は 107 名であり、参加者の出身地の分布、及び男女比、年齢比を以下に示す。

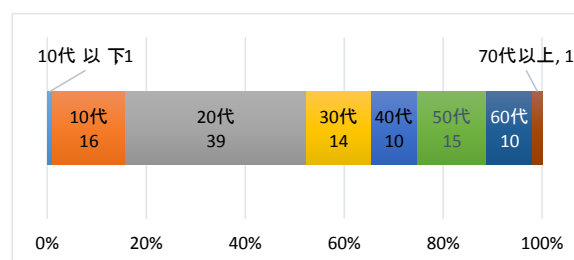
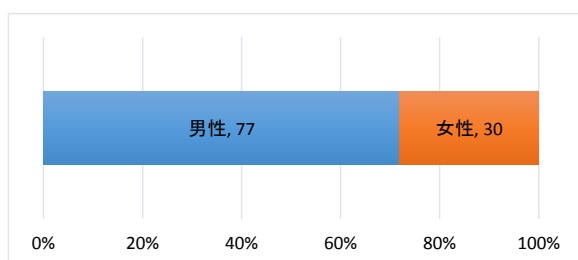


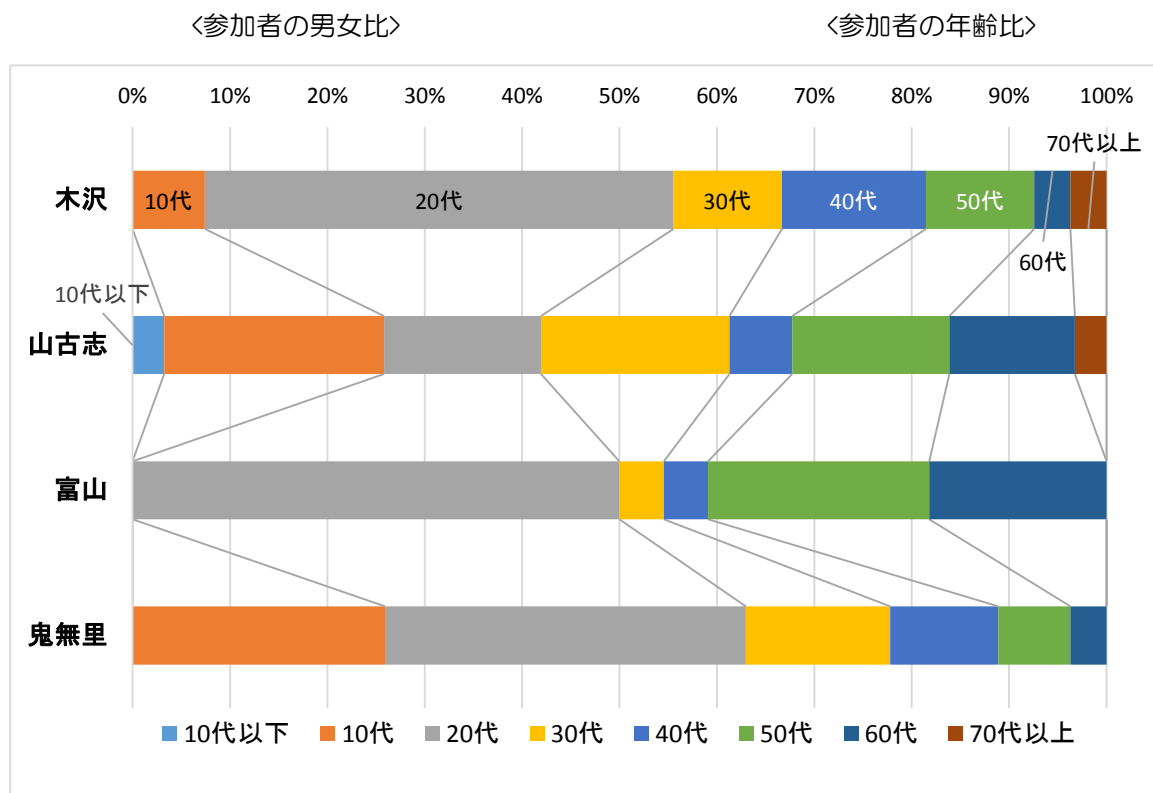
〈出身地別の雪かき道場の参加者数〉



〈雪かき道場の参加者の出身地分布〉

左図のように、開催県で開催県内の参加者も多いが、関東や東海地方からの参加者も多く、特に会社員や大学生が団体の参加したケースも見受けられた。





<開催地別の参加者の年齢比>

全体として10代20代の比率が高いのは、すべての会場において大学生の参加人数が多かったためであり、特に初開催となった長野市鬼無里では、大学生が2グループ参加したことにより、全体の比率が高まった。



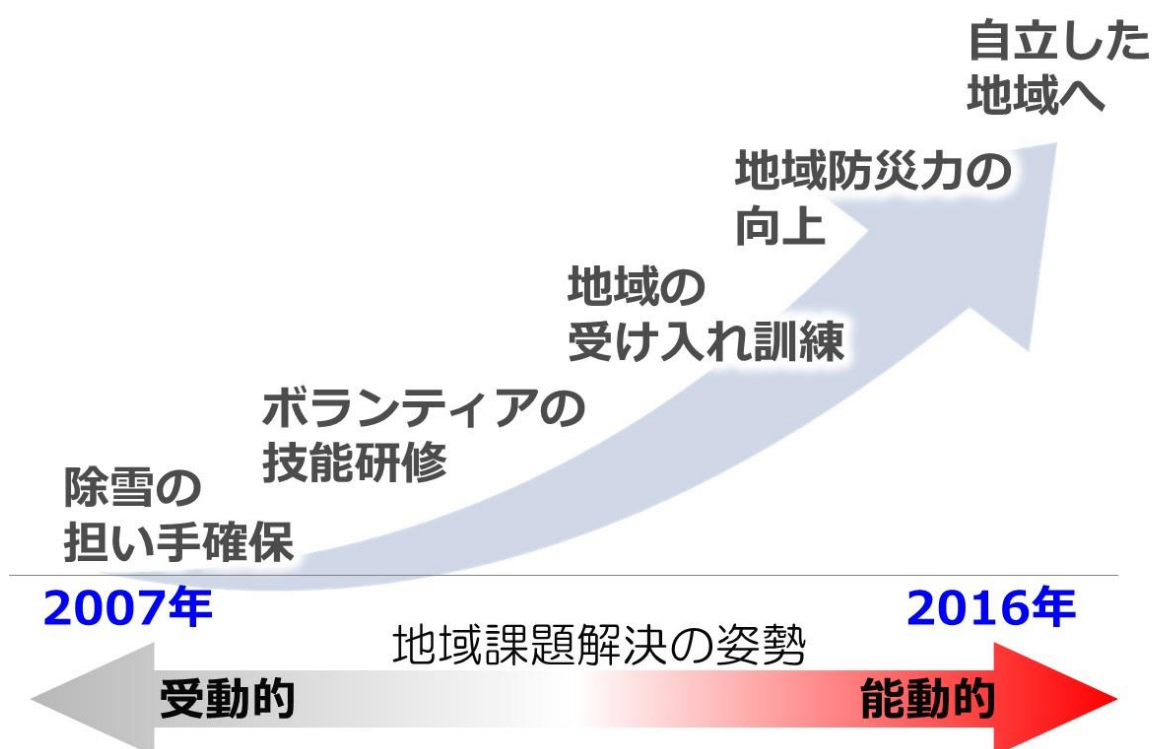
<大学生グループでの参加も多かった越後雪かき道場 in 鬼無里>

3. 考察

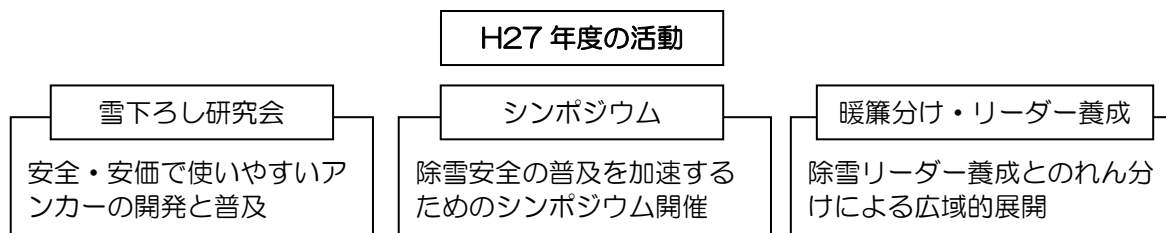
3-(1) 活動の成果

10年目を迎えた越後雪かき道場®も107名の修了者とともに無事終了することができた。10年間を振り返ると、前半は除雪救援のための担い手の確保という大きな課題のもと、「除雪ボランティアに対する技能研修」という位置づけと、開催地域に対しては「ボランティアの受け入れ訓練」という、2つの大きな目的を掲げて開催してきたが、やがて安全帯やアンカーと言った除雪安全の方面にも力を入れ、ひいては地域防災力の向上に貢献してきた。

「越後雪かき道場」10年の歩み



2016年は、地域課題解決の姿勢として、より能動的な活動に力を入れ、下記のような柱を立てて、10年にわたって越後雪かき道場®が築き上げてきたノウハウの普及をより加速する年度として活動してきた。



雪下ろし研究会を継続して開催したことは、後の雪かき道場シンポジウムでの活動報告やアンカー見学会にもつながり、またのれん分けに関しては、十日町市の池谷地区と群馬県片品村へ展開することができ、年度当初の目標は達成できたと考えている。

3-(2) 今後の課題

次年度以降は、次の10年に向けた長期計画を立てるとともに、全国に展開しつつある各地での雪問題に携わる同胞と情報共有するとともに後進を育て、暖簾を分けていきたいと考えている。

越後雪かき道場®道場の立ち位置に関しても、やがてそのミッションを少しずつ再定義していく必要があると考えている。

4. 参考資料

4-(1) H27 年度の活動報告

【会議・打ち合わせ記録】

日時	会名称	開催場所	議事	参加者数
7月23日(木) 10:00～12:00	事務局会議	長岡技術科学大学 機械棟 411 会議室	・今シーズンの活動内容の検討。 ・雪下ろし研究会、雪かき道場シンポジウムの素案検討。	6名
9月28日(月) 10:00～11:30	第一回雪下ろし 安全研究会	長岡技術科学大学 機械棟 2 階会議室	・越後雪かき道場®の年間スケジュールについて確認。 ・雪下ろし研究会の活動について確認。 ・雪かき道場シンポジウムの企画について説明。	14名
10月20日(火) 13:00～15:00	第二回雪下ろし 安全研究会	長岡技術科学大学 機械棟 411 会議室	・雪かき道場シンポジウムの進行について確認。 ・雪下ろし用ハシゴの開発について(山形県でのデモ日程を確認)	9名
11月2日(月) 13:00～15:00	事務局会議	中越防災 フロンティア事務所	・雪かき道場シンポジウムの進行と視察地の確認。	3名
11月24日(火) 10:00～12:00	事務局会議	中越防災 フロンティア事務所	・雪かき道場シンポジウムの進行と視察地の確認。	3名
11月25日(水) 19:00～20:00	雪かき道場 in 鬼無里打ち合わせ	鬼無里地区 活性化センター	・雪かき道場の開催について地元説明会。	28名
11月28日(土) 11:00～12:00	雪かき道場 打ち合わせ	富山市八尾町 大長谷交流センター	・雪かき道場の開催について地元説明会。	4名
12月8日(火) 15:00～17:00	雪かき道場 打ち合わせ	片品村花咲の湯	・雪かき道場(片品村、のれん分け)の開催について地元説明会。	19名
12月24日(金)	事務局会議	長岡技術科学大学	・各地で開催する雪かき道場	3名

13:00～15:00		上村研究室	の詳細打ち合わせ。	
1月13日(水) 13:00～14:00	事務局会議	長岡技術科学大学 上村研究室	・各地で開催する雪かき道場の詳細打ち合わせ。	3名
1月21日(木) 13:00～15:00	雪かき道場 打ち合わせ	富山市八尾町 大長谷交流センター	・雪かき道場の開催について地元説明会。	15名

【講演会・シンポジウム等の開催】

日時	名称	開催場所	議事	参加者数
11月20日(金) 13:00～17:00	雪かき道場 シンポジウム	長岡市震災アーカイブス センター 「きおくみらい」ホール	・基調講演。 ・関係団体からの事例発表。 ・ディスカッション、意見交換。	60名
11月21日(土) 9:30～14:00	アンカー 見学ツアー	魚沼市内	・魚沼市内のアンカー設置家屋の視察(3か所)	21名

【地域除雪活動の記録】

日時	活動名称	活動概要
1月30日(土)13:00～ 1月31日(日)13:00	越後雪かき道場® (長岡市川口木沢)	・初級コース、上級コースを設定し、安全講習及び安全帯やロープの使用方法について指導。 ・集落内の除雪。 ・上級コースでは、除雪リーダーの養成講座を設定。
2月3日(水)10:00～16:00	上州雪かき道場 (群馬県片品村)	・雪かき体験コース(初級コース)と小型除雪機コース。 ・次年度以降、地元で開催できるよう、のれん分けの見極めとしての位置づけ。
2月6日(土)13:00～ 2月7日(日)13:00	越後雪かき道場® (長岡市山古志)	・初級コース、中級コースを設定し、安全講習及び安全帯やロープの使用方法について指導。 ・集落内の除雪。
2月6日(土)13:00～ 2月7日(日)13:00	越中雪かき道場 (富山県南砺市太美山)	・中級コースを設定し、安全講習及び安全帯やロープの使用方法について指導。 ・集落内の除雪。
2月13日(土)13:00～ 2月14日(日)13:00	越中雪かき道場 (富山市八尾町大長谷)	・初級コース、中級コースを設定し、安全講習及び安全帯やロープの使用方法について指導。 ・ユキカキカルタ作成ワークショップ
2月20日(土)13:00～ 2月21日(日)13:00	越後雪かき道場® in 鬼無里 (長野市鬼無里)	・初級コースによる除雪技術の指導及び安全講習。 ・集落内の除雪 ・次年度以降、地元で開催できるよう、のれん分けを見据えた開催。

雪かき道場シンポジウム



10年の歩みと雪国イノベーション。

平成18年豪雪を機に立ち上げた越後雪かき道場®。1,000名を超える輩出者とともに、これまでの足跡をたどり、雪国各地でのSnow Innovationを加速していく。

平成27年11月20日(金)

■主催: 特定非営利活動法人 中越防災フロンティア

■後援: 新潟県、一般社団法人 新潟県融雪技術協会
公益社団法人 中越防災安全推進機構

■会場: 長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」ホール
〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2階
TEL 0258-39-5525 FAX 025-39-5526

■20(金) シンポジウム (無料) ■21(土) 現地見学会 (有料)	13:00 受付開始 13:30 基調講演、事例発表等 17:30 閉会 18:00 同会場で懇親会(会費制)を予定 9:00 長岡駅出発～昼食～14:00 ※ 詳しくは裏面プログラム参照
--	--

参加者募集

●募集定員 80名
お申し込み順です。定員に達し次第、受付は終了いたします。



■お問い合わせ・お申込み

特定非営利活動法人

 **中越防災フロンティア**

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫亀3373-1
TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305
info@c-bosai-frontier.jp <http://dojo.snow-rescue.net/>



※本事業は国土交通省「平成27年度雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査業務」の支援を受けて活動しています。

プログラム

H27.11.20 NPO中越防災フロンティア 雪かき道場シンポジウム

- 11月20日(金) 雪かき道場シンポジウム
- 13:30~14:20 基調講演「雪国イノベーション」 長岡技術科学大学教授 上村 靖司
14:30~14:55 ①スコップの活動紹介 新潟県総務管理部地域政策課雪対策室
- 14:55~15:20 ②最新のアンカー設置の事例 魚沼市建築組合 小林 武郎 様
15:20~15:45 ③アンカーの補助金制度について 魚沼市土木課都市整備室 渡辺 昇平 様
16:00~16:25 ④雪かき道場の開催と地元の活性化 フレンドシップ木沢 浅井 進 様
16:25~16:50 ⑤「田舎道場」の立ち上げ 富山県南砺市太美山地区 星野 正良 様
17:00~17:30 講演者、聴講者を含むフリーディスカッション 東 元旦 様
18:00~ 同会場にて懇親会(会費制、3,000円) ※演題及び講演者は変更になる場合があります。
- 11月21日(土) 現地見学会 (有料：2,000円)
- 9:00 長岡駅東口集合(バスにて移動)
魚沼市でのアンカー設置事例視察
長岡市川口地区でのアンカー設置事例視察
(昼食)
~14:00 長岡駅東口 戻り ※コース及び時間は変更になる場合があります。

聴講申込書

必要事項を記入の上、メールまたはFAXにて申込みください。(H27. 11月13日(金)まで必着)

◆申し込み先 **FAX 0258-59-2305** **info@c-bosai-frontier.jp**

NPO中越防災フロンティア

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫亀3373-1
TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305

	11月20日(金) 13:30~17:30 シンポジウム(無料)	11月20日(金) 18:00~20:00 懇親会(有料:3,000円)	11月21日(土) 9:00~14:00 見学会(有料:2,000円)
参加ご希望の欄に○を付けて下さい。			
参加者氏名	団体名・会社名		
住所 〒			
連絡者氏名	部署・役職		
電話番号	FAX	E-mail	
連絡事項			

注意事項

- ※ お申込みに頂いた個人情報は適切に管理し、シンポジウムの出席確認のみに使用します。
- ※ 懇親会費、見学会の費用に関しては、当日受付にて徴収いたします。

- 座席数が限られています。定員になり次第締切らせて頂く場合があります。
- 会場には駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。
- 都合により、講演内容が変更する場合がございます。

お問い合わせ 特定非営利活動法人 中越防災フロンティア

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫亀3373-1 TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305

越後雪かき道場®2016



平成18年豪雪の甚大な被害と、それに比べられなかった対応力。そこで越後雪かき道場®を立ち上げ、除雪未経験者への技術指導と、豪雪地帯の住民にも支援者受け入れの訓練を行ってきた…。あれから10年。1,000名を超える認定者を輩出するとともに、安全な除雪作業のための安全帯やアンカーの開発にも携わってきた。越後雪かき道場®は、全国から訪れる除雪ボランティアとともに、これからも雪国の安全を考えていきます。

2016年(平成28年)

- | | |
|--|----------------------|
| ☐ 1/30(土)~31(日) | 新潟県長岡市川口木沢(初級、上級コース) |
| ☐ 2/3(水) | 群馬県片品村花咲(初級) |
| ☐ 2/6(土)~7(日) | 新潟県長岡市山古志(初級、中級) |
| ☐ 2/6(土)~7(日) | 富山県南砺市太美山(初級、中級) |
| ☐ 2/13(土)~14(日) | 富山県富山市八尾町(初級、中級) |
| ☐ 2/20(土)~21(日) | 長野県長野市鬼無里(初級) |

**参加者
募集!**

※都合により日程・内容等変更する場合があります

初級コース

雪かきの基礎を学びます。まずは「雪かき道場<越後流>」で講義。それからカンジキ、スコップ、スノーダンプの実技訓練です。雪かき体操やカルタもあって楽しみながら安全に除雪する知識と技が習得できます。

中級コース

初級コースを修了した方や、雪国での除雪経験がある方を対象に、主に屋根雪除雪に関する技術を学びます。命綱(安全帯)やロープに関する講習を行い、安全かつ効率的に除雪作業ができる技術を学びます。

上級コース

除雪リーダーを目指し、チームを率いて安全に除雪作業を行うため、作業現場での除雪の段取りや命綱指導などを学びます。また、コースの最後には筆記試験もあります。経験を積んでいずれば師範代に!

■ お問い合わせ・お申込み



特定非営利活動法人
中越防災フロンティア

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫電3373-1

TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305

info@c-bosai-frontier.jp <http://dojo.snow-rescue.net/>



越後雪かき道場2016

おかげさまで越後雪かき道場®は10年目を迎えます！今年も“常連さん”の開催地や、初めて開催する地域もあり、越後雪かき道場®スタッフはもちろん、開催地の皆様も期待に胸がふくらんでいます。皆様のご参加をお待ちしています！

- 初級：スコップやスノーダンプの扱い方の基礎を学びます。(雪かき初めて！の人にオススメ)
- 中級：命綱やロープの安全な使い方を学び、屋根からの雪下ろしを実践します。(初級修了者にオススメ)
- 上級：チームを率いて除雪の段取りや命綱の指導をしていく除雪リーダーを目指します。

■ 参加費用

- 講習費：1,000円 (テキスト代、保険等)
※参加会場により、異なる場合がありますので、お問い合わせください。
- 宿泊費：5,000～6,000円程度 (1泊3食つき)
※宿泊費は開催地によって異なりますので、お問い合わせください。

■ 服装

- レインスーツ(雨合羽等)
- フリースジャケット
- ゴム手袋(中厚) + 軍手
- 毛糸の帽子
- タオル(汗ふき、防寒用)
- 長靴
- 着替え
- カイロ 等

■ スケジュール(1泊2日コースの場合)

1日目	12:30	受付開始
	13:00	オリエンテーション
		座学(テキスト講習)
	14:00	健康雪かき体操
		実技演習(基礎)
2日目	16:30	フリータイム
	18:30	地元住民の方々と交流会
	7:30	起床、朝食
	8:30	健康雪かき体操、作業手順確認
	9:00	実技演習(集落内の除雪等)
	11:00	修了式、ふりかえり
	12:00	昼食後、解散

タオルを首に巻いて、
防寒と防汗！

ダウンジャケットは
作業の時、着すぎ。
薄手の防水アウターと
フリースの重ね着が
オススメ。

厚手ゴム手袋+軍手の
2枚重ねは最強だよ。

ブーツよりも長靴

厚手の靴下で防寒を！



■ 参加申込書 (必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、メール等でお申込みください。)

参加者氏名
(よみ)

電話番号
(当日連絡が取れる携帯電話)

連絡先住所 〒

※参加申し込みで得た個人情報については、雪かき道場の参加受付以外の目的では使用いたしません。)

参加希望会場と級(日付にチェックし、コースに○をつけてください)

日程	開催場所	コース	集合時間・集合場所
☐ 1/30(土) ~ 31(日)	新潟県長岡市川口木沢	(初級・上級)	12:30 長岡市川口木沢467-1「やまぼうし」
☐ 2/3(水)	群馬県片品村花咲	(初級)	※お問合せ：片品村社会福祉協議会(0278-58-4812)まで
☐ 2/6(土) ~ 7(日)	新潟県長岡市山古志種芋原	(初級・中級)	12:30 長岡市山古志種芋原4526「あまやち会館」
☐ 2/6(土) ~ 7(日)	富山県南砺市太美山	(初級・中級)	12:30 南砺市太美1番地「太美山公民館」
☐ 2/13(土) ~ 14(日)	富山県富山市八尾町	(初級・中級)	12:30 富山市八尾町内名88「大長谷交流センター」
☐ 2/20(土) ~ 21(日)	長野県長野市鬼無里	(初級)	※お問合せ：鬼無里地区住民自治協議会(026-256-2213)まで

連絡事項

■ お申込み・お問い合わせ



特定非営利活動法人
中越防災フロンティア

〒947-0205 新潟県長岡市山古志虫亀3373-1
TEL 0258-59-2308 FAX 0258-59-2305 info@c-bosai-frontier.jp
http://dojo.snow-rescue.net/

※本事業は国土交通省「平成27年度雪処理の担い手の確保・育成のための克雪体制支援調査業務」のほか、下記の法人よりご支援を得て活動しています。

(公財)内田エネルギー科学振興財団

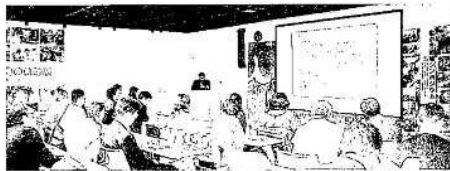


新潟県建設技術センター



株式会社 興和

雪かき道場 10年目



④シンポジウムに大勢の人が参加した。長岡市災害アーカイブセンターで指南書の雪かき道場十周年



「越後雪かき道場」の活動が今年、10年目を迎えた。全国で152人が集った2006年の大雪を機に生まれ、会員は県内外に広がり、地域のネットワークづくりにも一役買う。11月には長岡市内でシンポジウムと見学会があり、秋田、山形、富山などから80人ほどが集まった。

立ち上げにかかわった1人、長岡技術科学大の上村 靖司教授（雪氷工学）によると、06年の豪雪時の事故

高齢化の地域と不慣れなボランティア結ぶ

長岡でシンポ 県内外に広がる活動

は、大半が高齢者の単独作業で起きた。高齢化が進み、雪に慣れている人たちがもついてもならない地域の現状を顕在化させたという指摘。雪に不慣れなボランティアに頼れない地域の不信もあったという。

双方の課題を解決し、雪に慣れ、雪のある暮らしに親しんでもらう場が道場だ。NPO法人中越防災フロンティアなどが、原則1泊2日で開く。基本を学ぶ初級はかんじきの履き方、スコップや雪かき用シャベルの使い方などを習得。中級は命綱の使い方やほしごかけから屋根の雪をおろし技術を、上級になると除雪機械の操作をはじめ安全管理と安全指導を学ぶ。

経験豊富な地域の住民が師範として指導する。夜も交流がある。07年1月に長岡市山古志地域で初めて道



雪かき交流10年目

除雪の担い手育成などを目的にNPOや大学教授らが2007年1月に開講した「越後雪かき道場」が今冬10年目を迎えるのに合わせ、記念のシンポジウムが先週、大手通2のきおくみらいで開かれた＝写真＝。

県内外の七つの住民団体などが、雪かき道場と関わって得られた成果などを発表した。

川口地域の木沢集落の地域おこし団体「フレンドシップ木沢」の星野秀雄さん(75)は、集落の高齢化率が6割を超えていることなどを報告し、「木沢に雪かきボランティアが来てくれることで、元気をもらっている。交流も楽しみ」と話した。

場が開かれて以降、長岡以外でも開催され、県内外で初級は949人、中級で127人、上級（除雪リーダー）で35人が修了している（今年2月現在）。

雪かき技術は「伝統の暗黙知」（上村教授）という。雪を知る各師範には流儀がある。道場は、受講者らに技術を伝えるため、除雪方法や安全の知恵をまとめた「雪かき道（越後流）指南書」を07年に発行、現在は英語併記の第3刷と版を重ねる。

11月20日のシンポジウムでは、十日町地域おこし実行委員会、長野県社会福祉協議会、長岡市川口地域のフレンドシップ木沢、富山県南砺市の住民が地域の課題や取り組みを紹介した。

来年2月に初めて開く長野市の鬼無里地区住民自治協議会からも、女性4人が参加。地域は高齢化率は50%を超え、自宅の除雪も思

うようにならない高齢者世帯が出ていくという。協議会の地域たすけあい事業コーディネーター、樋口綾さんは「市内の雪かきボランティアに技術や安全の技術を習得してもらおうと、受け入れ体制もつづいていきたい」と話す。

参加者らは、除雪時に民家の屋根などに付け付けた安全器具なども見学した。師範代でもある上村教授によると、道場は地域が主体的に課題に向き合うようになることが狙いで、その担い手を増やすことにあったと話す。ホワイトリリズムや移住者向けの雪かき体験なども開かれるようになり、県内外で活動の芽が育ってきているとし、「問題を共有することが大事。雪国のみんなが力を合わせれば、いろんなことができるのではないかと」話す。

問い合わせは中越防災フロンティア（0258・59・2308）へ。（桑野尚彦）

平成 27 年 12 月 5 日 朝日新聞（新潟版）

平成 27 年 11 月 27 日 新潟日報

